

住宅改修費等の支給は

今後検討したい／健康福祉課長



かどたにわこ 議員 門田 仁和子

方式を選べるようにすべきではないか。

答

矢野 健康福祉課長

住宅の段差解消や、廊下、浴室などへの手すりの設置、

問 介護保険制度は高齢者が自立した日常生活を営めるよう必要な医療、福祉サービスを提供する目的で制定された制度である。介護保険による住宅改修費（上限20万円）、福祉用具購入費は9割が保険より給付、一割自己負担となっている。しかし一旦全額立て替えなければならない。
利用者負担の少ない、立替え不要な受領委任払いを採用する市町村が増加している。黒潮町でも受領委任払い

またシャワーベンチ等の購入に対して、公費で9割の助成を行っている。現在は償還払いで申請者本人が工事費、また購入費など全額支払いを行った後、後日工事の完成をもって、受領書等で町は確認して、介護保険から9割を支給している。しかし新たにシステム外の作業が発生したり、工事内容が変更された時、適切な処理がされるか心配だが、高知市や四万十町などでは既に実施しており、黒潮町でも今後検討したい。

校庭の芝生化を推奨

モデル校の実施
考えていない／町長

教育関係

問

校庭の芝生化は、子どもの体力の向上や怪我の防止、騒音の低減など教育、健康保全身上の効果が挙げられているほか、温度上昇（ヒートアイランド現象）の抑制など環境対策としても注目を集めている。
芝生化による子どもの運動量の増加、理科の観察での活用、グラウンドの土砂の流出防止などの効果もあり、全国的に採用する学校が増えている。芝の植え付けは鳥取方式を採用する事で、低価額での植え付けを可能にし、維持管理の負担も軽減している。

答

大西町長

金子教育次長

芝生については素足とか、スパイクのない靴で走ると滑りやすくなる。管理費用の負担も大きい。かなりの面積を手動の芝刈り機でやると児童先生等にも負担となる。教育現場からも芝生化が求められていない現状もあり、モデル校の実施についても今のところ考えてないが、佐賀中学校においては、砂ぼこり対策として校庭の周辺部の芝生化を予定している。

同方式を提唱しているNPO法人「グリーンスポーツ鳥取」によると、鳥取方式による芝生化の実施は21年度末で42都道府県の600カ所以上に及び、中でも和歌山県では既に19校の小学校の屋外運動場全面芝生化を実現して、本年度も6校増やす模様。校庭の芝生化を実施した多数の学校の関係者の声をまとめると、子どもの運動量の増加、体力向上に役立つと喜んでいる。広島のア西小学校（児童数430人）の現地視察では全国で校庭の芝生化が進み、芝の引き合いが殺到、1年前から値段が倍以上になっている。児童の体力向上、外遊びの意欲の向上、土より安全で怪我の減少、砂ぼこり等近隣に及んでいた汚れを防げる。外観の美しさや雨天後のグラウンド使用が短時間で可能になった等、メリットを上げられ非常に喜んでた。
黒潮町でも保育園、小学校を含めモデル校を選び、まず1校でも実施する方向で検討すべきでないか。

